

令和5年度 園評価

大垣市立墨俣保育園

1. 園の保育・教育目標

心も体もたくましい元気な子
丈夫な子（自主性）・仲よく遊ぶ子（協調性）・個性豊かな子（創造性）

2. 前年度園評価や幼児教育指導の方針と重点などを基にした、園経営の重点及び具体的方策

- ・保育者は子どもの自己肯定感を高める為に、振り返りや帰りの会で良さを紹介する機会を設ける。
- ・保育者は子どもに主体性や達成感を味わわせる為に、個に応じてねらいを設定したチャレンジカードを作成する。
- ・保育者が子どもの学びや成長を実感できるよう、週案に10の姿を入れて記録したり、終礼でエピソードを話したりする。

3. 評価項目の達成状況及び取組状況

| 短期目標 | 自己評価 | 保護者評価 |
|---------------------------------|------|-------|
| ①自分でできる事に喜びを感じ、自信をもって挑戦する。 | 2. 7 | 3. 6 |
| ②色々な運動遊びやリズム遊びに親しみ、体を動かすことを楽しむ。 | 3 | 3. 9 |
| ③友達に興味関心を持ち、親しみをもって関わる。 | 2. 9 | 3. 4 |
| ④自分の思いや感じたことを表現する喜びを味わう。 | 3. 1 | 3. 6 |
| ⑤保護者と子どもの育ちや願いを共有する。 | 2. 9 | 3. 5 |
| ⑨安全に留意しながら、多様な遊びに取り組む。 | 2. 6 | 3. 5 |

4. 自己評価結果の概要

- ・保育者は子どもに寄り添って遊び、一人一人の良さを価値付ける取り組みができた。環境の再構成の工夫をし、遊びが途切れないようにしていく。
- ・保育者はチャレンジカードの取り組みをすることで、子どもの主体性を育て、達成感を味わわせることができた。更に、計画的な取り組みをしていく。
- ・職員同士が10の姿でエピソードを共有することで、子どもを観る目が養われた。保護者や地域にも、ねらいのある保育の積み重ねが大切であることを伝える。

5. 保護者による評価及び意見の概要

- ・保育者は子ども1人1人の良さを褒めたり、良い事見つけをしたりすることで、自己肯定感を高めている。
- ・子どもは工作やお絵かき等を家庭ではあまりやらないが、保育者が子どものやる気を引き出して、色々な経験ができています。
- ・保護者は保育者に分からない事や悩みなどを聞いてもらえたり、早朝延長利用者もこまめに連絡をもらえたりするので安心である。

6. 関係者による評価及び意見の概要

- ・保育者は子どもが楽しみながら運動遊びができるよう、保育の工夫をするとうまい。
- ・園が行事終了毎にアンケートを取ったことで、保護者は声を聞いてもらえているという安心感や、預けて良かったと思える信頼関係に繋がっている。
- ・園は大地震発生時や園外での緊急事態発生時など、様々な場面を想定した訓練をしたり、ヒヤリハットの共有をしたりすることで保育者の危機意識を高めて欲しい。

7. 次年度に向けて

- ・保育者は子どもたちが継続して遊ぶことで学びが深まるよう、施設を活かしたり、環境の再構成をしたりする。
- ・保育者はPDCAサイクルをしながら計画的な保育の取り組みができるよう、週案の書き方を工夫する。
- ・保育者は保護者や地域にねらいをもった遊びの大切さが伝わるよう、クラス便りの作成や保育参観、懇談などを行う。
- ・園は保育者の危機意識を高める為に、様々な場面を想定した訓練や研修を行ったり、マニュアルを見直したりする。